



発行日： 2025 年 1 月 日

発行： 一般社団法人宮城県理学療法士会

代表者： 渡邊 好孝 編集： 佐々木友也 (E-mail: news.edit@pt-miyagi.org)

### もくじ

1. 巻頭言

2. ブロック局 活動報告

3. Column

4. ブロック局 各支部長からのご挨拶

5. 第 11 回日本予防理学療法学会

学術大会活動報告

6. 第 8 回日本循環器理学療法学会

学術大会活動報告

7. みやぎ PT 学会情報

8. 宮城県理学療法士連盟 活動報告

9. 理学療法士が教えるぜひ読んで

おきたいこの 1 冊

## ○巻頭言

### “何とかしたい”ときのための『参政権』

一社) 宮城県理学療法士会  
会 長 渡邊好孝

#### 【「おろか」にならないために】

1947年5月3日に施行された日本国憲法の三大原則は、「平和主義」「国民主権」「基本的人権の尊重」です。国民主権にとって最も大事なことは“参政権”と言われています。若い皆さんは、高校の「政治・経済」で学んだかと思いますが、内容は覚えていますか。

1889年から1947年頃の大日本帝国憲法での人権は、法律に定められた範囲内で保証されたものでしたが、日本国憲法が国民に保障する基本的人権の五つの権利（自由権・社会権・参政権・国務請求権・平等権）の一つの参政権は、国民が現在から将来にわたり保障される“法律によってすら侵されることのない永久の権利”ですので、混同しないようにしましょう。

日本の法律は国会で制定されます。法律案(改正案)は内閣または国会議員が作成し国会に提出され審議されます。

1965年に「理学療法士及び作業療法士法」が施行され、1966年に理学療法士が誕生しました。当

然のことですが(残念ながら)私たちは存在していません。約60年以前の社会情勢下での法律の制度設計ですから、現実と乖離した文言や不都合を感じることは少なくありません。

私たちをよく知らない人達は、先入観による固定観念や既成概念で理学療法士をイメージしますし、私たちさえも、悩ましい現実の中、『unconscious bias』(無意識の偏見や思い込み)によって職能の可能性を狭めたり歪めたりすることがあります

法律に対して「何とかしてほしい!何とかならないの?」という思いがあっても、自分からは何もしない無責任な一人でいることは、実に「愚・痴・癡」(おろか)なことではないでしょうか。

#### 【賢い行動】

賢い人の集団は、自分達の欲求と願望を叶えるために、その思いを国会議員に託すことを実践し

ています。政策論議される環境に組織代表を送り出さなければ変化は起こらない現実を重々承知して行動しています。

選挙での獲得票数が多いほど、民意を代表する議員としての発言力は強いと言われてますし、民意を多く集めた政党が政策決定過程に強い権力（影響力）を行使できるので、支持政党の応援や候補者の後援にも熱心になれるのです。

参政権には選挙権も含まれます。参政権は、国民が主体となって行うための権利なので、日本国憲法の三大原則の下で、国民に保障する基本的人権の五つの権利を守るためにも国政選挙を尊重し行動しましょう。

賢い行動とは、「自分にとって楽しいことをする」「相手にとって嬉しいことをする」「社会にとって好ましいことをする」です。これらの3つがバランスよく行えることだと思います。

善い仕事ほど誰もが真似たい、学びたいと思うものです。同時に自由主義の社会ですので、隙あれば、奪い取りたい、儲けたいと思うことでしょう。

私たち理学療法士が専門職としての知識や技を磨き高めるのは当たり前価値として取り組んでいます。同時に基本的人権を尊重し行動できる人として、五つの権利（自由権・社会権・参政権・国務請求権・平等権）を語れるようにしたいものです。

そして、国家国民のために、私たちの組織代表として汗を流されている国会議員の仲間を賢く支援してまいりましょう。

# ○宮城県理学療法士会

## ブロック局 活動報告

### 大崎支部「第1回座談会 活動報告」

大崎支部 支部長  
小野寺 和夫

2024年11月7日（木）19時より、大崎市民病院3階会議室にて「第1回座談会」を開催いたしました。これまで大崎支部では勉強会を中心に活動してきましたが、「お互いを知り、連携を深めやすい関係づくり」を目的に初めての座談会を企画しました。

当日は9施設・24名の理学療法士が集まり、1グループ5～6名に分かれて「臨床業務について」、「サマリーについて」、「教育・勉強会について」という3つのテーマでディスカッションを行いました。セッションごとにメンバーをシャッフルして実施したため、多様な意見や考えを参加者同士で共有することができました。

終了後のアンケートでは、「開催して良かった」「次回も参加したい」という声が多く寄せられました。また、「多職種との交流」や「医療・介護の連携の場を広げたい」という前向きな意見もいただき、今後の活動への期待が高まっていることを実感いたしました。

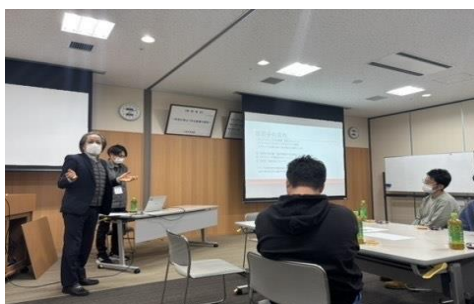
当初は参加人数や会の盛り上がり不安もありましたが、活発な意見交換が飛び交い、笑顔も多く見られる充実した会となりました。今回の座談会は、大崎支部の新たな一歩となったと確信しています。

#### 今後の展望

今回の座談会で得られた意見を基に、具体的な研修会や勉強会を企画し、さらに他施設や多職種との交流を深める取り組みを進めてまいります。地域全体の理学療法の質を高め、より活発な支部活動を展開していきたいと考えております。

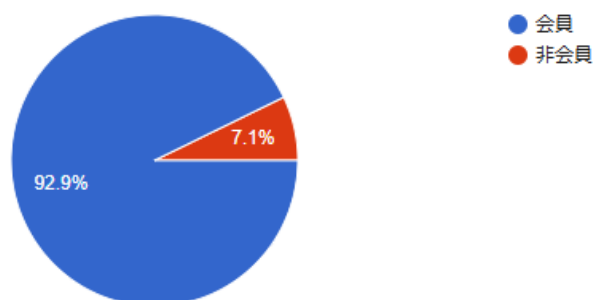
#### 皆様のご意見をお待ちしています！

大崎支部では、今後開催したい勉強会や活動についてのご意見を募集しています。何かアイデアやご要望がありましたら、ぜひ小野寺までご連絡ください ([osakishibu.pt@gmail.com](mailto:osakishibu.pt@gmail.com))。

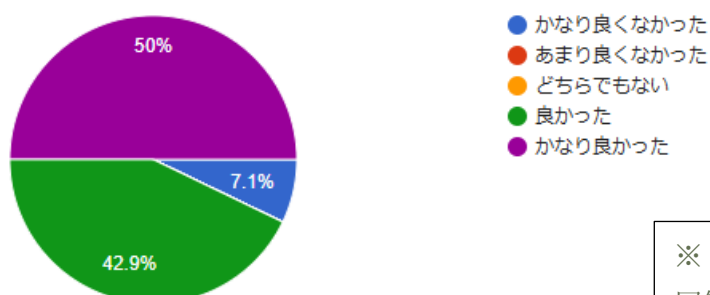


## 【参加者アンケートの結果】

### <会員区分>



### <参加してどう感じたか>



※「かなり良くなかった」を回答した方も「次回ぜひ参加したい」と他問で回答しているため、誤回答と思われる

### <今後どのような分野の勉強会を行いたいか>

#### 整形分野

オンライン形式も良いが、対面で意見交換しながらも良いと思う。

エビデンスを活かした実技形式の勉強会

施設間の同一症例の検討会

生涯学習のポイントが取得できる内容

## 泉支部「第1回座談会 泉支部研修会」

泉支部 支部長  
高村 真司

令和6年12月14日(土)に宮城県理学療法士会ブロック局 第1回 泉支部研修会を開催致しました。今回の研修会では、「心臓リハビリへの理学療法の基礎知識～介入時のアセスメントポイント～」と題し、泉支部では初めての研修会として開催させて頂きました。臨床におけるリハビリのターゲットは、本邦における超高齢社会を反映し、フレイルかつ重複障害を保有する高齢心不全が増え、更に非心臓血管疾患へのリハビリテーション介入においても、心臓リハビリテーションの領域の知識が求められる場面が増えてきていると感じます。そこで本研修会では、竹内雅史氏(東北大学病院)、菅野美香氏(松田病院)の2名の講師をお招きし、心臓リハビリテーションの初学者から経験者を対象に、フラットな学びの場として、今回はバイタルサインの考え方を主体とした内容を実施致しました。また研修会内容の構成は座学・実技・ディスカッションとし、心臓リハビリの学びの場としてのみではなく、参加者同士の関係性作りに繋げられるよう工夫させて頂きました。

今回、泉支部での研修会は初めてであり手探りの部分も多くありましたが、県内の様々な施設から多くの方々に参加して頂き、無事に開催出来たこと、とても良い時間を過ごさせて頂きましたことに喜びを感じております。また、運営に際し、多くの方々に快くご協力して頂いたこと心より感謝申し上げます。

今後も臨床に繋がる研修会を開催していきたいと思っておりますので、引き続きご支援の程、何卒宜しくお願い致します。次回も皆様のご参加を心よりお待ちしております。



## 気仙沼支部「第3回スポーツ交流会 開催報告」

交流大会実行委員長 梶原 修弥  
気仙沼支部 支部長 齋藤 寛太

2024年9月22日（日）に宮城県理学療法士会気仙沼支部主催、第3回スポーツ交流大会が開催されました。

昨年度に引き続き、宮城県内から30名以上の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の皆さまにご参加いただいたことで大盛況のもと終えることができました。

今年度は“障害者スポーツ”にも焦点をおき、ソフトバレーボールとボッチャを行いました。競技を行う中で交流を深め合うことはもちろん、リハビリテーション職同士でも知らなかった一面を知る良い機会となりました。また、改めて顔を合わせて話しながら、競技を通して協力することで皆さまの楽しむ姿・笑顔が見られたことを嬉しく思います。

これからも理学療法士同士の交流が図れることはもちろん、作業療法士・言語聴覚士のリハビリテーション職同士の交流が図れるよう、より良い企画を検討していきたいと思っております。引き続き、ご協力の程よろしくお願いたします。



### ～ 「ゆでガエル」 ～

日本は 100 年後も人口 800 万人以上を保たなければ、日本の社会は成り立たないと言われていま

す。  
2048 年に 9913 万人と日本の人口は 1 億人を割り込み、2060 年には 8674 万人まで減少することが見込まれています。また、2070 年頃の高齢化率は 39%になると試算されています。(国立社会保障・人口問題研究所の推計) つまり、国民の 3 人に 1 人が高齢者になるわけです。特に東北地方の人口減少は全国で最も急速に進みます。

2050 年には 2020 年の 7 割未満まで減少し、全国で最も人口減少が進むのが秋田県です。2020 年時点の 96 万人から 56 万人に減り (マイナス 40 万人)、秋田県全人口の約半数 (49.9%) が 65 歳以上の高齢者となる見通しです。また、15 年後の 2040 年では、宮城県以外の東北 5 県の高齢者割合は 40%以上になると推計されています。

宮城県の 2050 年の人口は、2020 年時点の 230 万人から 183 万人 (マイナス 47 万人) に減る見込みです。(国立社会保障・人口問題研究所の推計)

高齢化率は、「全人口に対する 65 歳以上人口の割合の数値」とされ、7%を超えると「高齢化社会」、14%を超えると「高齢社会」、21%を超えると「超高齢社会」となりますが、それ以上は表現されていないようです。2024 年 9 月の日本の高齢化率は 29.3%ですので「超々高齢社会」とも言われるようにもなりました。

日本国内だけではなく、世界各国に目を向けても、2030 年までに大半の国 (アフリカと中東諸国を除く) は「高齢化社会」に突入するようです。東北地方は世界に例を見ない「究極の高齢社会」が間近に迫っているのです。

また、東北地方から若い世代 (特に 20 歳代と女性) が東京などの大都市圏に流出しています。この東北地方の社会減を各県レベルで止めることは難しい状況ですが、宮城県は、人口が減りつつも、仙台市への転入者は増加すると予測されています。

東北地方から若い世代が流出する現象の背景には、地元働く場所が少ないということが一つの要因として考えられます。行政と産業界等が密に連携し、若い世代が地元で定着していくための様々な取り組みが求められます。



ただ、このような状況であっても、「地元の発展に貢献したい」という挑戦する気概に満ちた若い世代は決して少なくはありません。そういった若い世代を応援する仕組みを作り上げていくことも肝要だと思います。

さらに、合計特殊出生率（1人の女性が一生のうちに産む子どもの数の指数）は1947年4.54から2024年は1.15と出生率は下がり続けています。2026年はさらに下がると予想されています。これは干支が60年周期の丙午（ひのえうま）の影響です。江戸時代前期の“八百屋お七”の話に由来する迷信とは分かっていますが1966年当時の出生率のように急減するかもしれません。

理学療法士の平均年齢は36.1歳（日本理学療法士協会2024年3月）です。今から10年、20年、30年、40年後の貴方の働く環境や社会を想像してみてください。それぞれのライフステージで大切なこと、思いもかけないことがあると思います。間違いなく2070年頃は皆さんも高齢者になっていますね。

ゆっくりとしかも確実に人口は減少します。「国家の有事！」なのですが、進行する変化や危機には気付かない「ゆでガエル」にならないようにしましょう。

未来の世界と社会を自分ごととして「考え」て「行動」しましょう。

\*\*文中のアンダーラインについて自分なりに想像し、職場の皆さんとは、“理学療法士にできる社会デザイン”を話題にしてみてください\*\*

Yoshitaka Watanabe

## ○ブロック局だより

### 各支部長からのご挨拶

宮城県理学療法士会では地域を14の支部構成とし、各支部で独自の活動をしています。支部構成となった当初は、コロナウィルス感染症の全国的な拡大の影響もあってか、活動できる支部は少なかったのですが、徐々に各支部での活動が活発になってきており、今年度は11月末時点ですでに11の活動実績がございます。本号では、前号で紹介することが出来なかった「塩釜支部」「黒川支部」「大崎支部」「石巻支部」「栗原支部」「登米支部」「気仙沼支部」の支部長の先生方より、各支部の活動や特徴について簡単ではございますがご紹介いただきます。

#### 【塩釜支部】 支部長 鈴木 耀 先生（仙塩総合病院）

皆さんお久しぶりです。塩釜支部長を務めています、仙塩総合病院の鈴木耀です。今年は3回の研修会・勉強会を開催し、いずれも50名以上の方から参加いただくことができました。私たちの企画には新人からベテランまで幅広く参加いただいております、塩釜支部圏外からの参加も多くみられるようになってきました。今後も多くの方に参加いただけるような面白い内容や開催形式で行っていききたいと思います。支部圏の方だけでなく県内全域からのご参加をお待ちしています。



#### 【黒川支部】 支部長 榊 望 先生（仙台リハビリテーション病院）

黒川支部は、副会長と兼務して担当させていただいています。黒川地区は施設数が少なめな上に支部全体が仙台との繋がりが強く、独自の活動を見出しにくい地域ではありますが、県平均より高齢化率の高い地域（1町1村）と低い地域（1市1町。県内の高齢化率の低い市町村1位・2位でもあります）が偏在しており、地域特性として特徴的です。支部内会員・行政との顔の見える関わりを通して、きめ細やかな対応を図っていきたいと考えています。今後とも宜しく願い致します。

#### 【大崎支部】 支部長 小野寺 和大 先生（大崎市民病院）

今年度より大崎支部の支部長となりました大崎市民病院所属の小野寺和大と申します。大崎支部では、今年度座談会・研修会を1回ずつ企画・検討しております。11月7日に座談会を開催し、9施設24名のPTの方々に参加頂きました。今後は頂いた意見をもとにオンラインでの研修会を検討しております。座談会よりも参加者が増え、より活動が活発な地域にしていきたいと思っております。チラシやLINEでの広報も行っていく予定ですので、ご興味のある先生方は職場の方々にお声がけ頂きながら、ぜひご参加ください。

**【石巻支部】 支部長 伊東 貴広 先生（石巻健育会病院）**

石巻支部長の伊東です。石巻支部は若手スタッフも多いので、少しでもためになるものを、という思いで研修会を企画、実施しております。今年度は研修会を2回、症例検討会を1回開催する予定です。登録理学療法士の更新ポイント付与対象の研修会ですので、おススメですよ～(^\_^; とにかく、皆さんと楽しく交流しながら研鑽していきたいと考えております。研修会も交流会（いずれ復活したい!）も来るもの拒まずです。ぜひ絡んでください。

**【栗原支部】 支部長 前川 芳輝 先生（栗原中央病院）**

栗原支部の支部長を務めさせていただいております栗原中央病院の前川と申します。栗原支部は2021年に大崎ブロックから独立する形で結成されております。栗原市では結成前より栗原市のリハスタッフにて「Ku-リハネット」を作り、職種を超えた中で懇親会・講習会などを行っていました。今年度より「Ku-リハネット」の活動も再開したため足並みを揃え支部としても活動していく方針です。引き続き皆様のご支援の程、何卒宜しく願いいたします。

**【登米支部】 支部長 小寺 光彦 先生（登米市立登米市民病院）**

登米支部支部長の小寺光彦と申します。登米支部の活動ですが、各町域における集いの場（ミニデイサービス）での体力測定や、自立支援型ケア会議の参加、カップハーフマラソンにおけるコンディショニングブースの運営など、より地域に根ざした活動を行っているのが特徴となっています。登米市のリハビリ専門職による自主活動グループ、To me Re:とも連携しながら、登米市の資源を最大限に活用し県北を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願い致します。

**【気仙沼支部】 支部長 齋藤 寛太 先生（気仙沼訪問看護ステーション）**

気仙沼支部で支部長をしております気仙沼訪問看護ステーションの齋藤寛太と申します。気仙沼支部は気仙沼市と南三陸町の1市1町で活動しております。今年度は、12の研修と新人歓迎会や交流球技大会など企画開催しております。対面での研修を主として講師の先生や地域のリハ職との交流が図れるように懇親会を開きながら、横のつながりを大切に顔の見える関係性を構築しております。今後も皆様のお力添えいただきながら地域の発展に努めていきたいと思っております。



# ○第 11 回日本予防理学療法

## 学会学術大会 活動報告

### 第 11 回日本予防理学療法学会学術大会を終えて

大会長

仙台大学体育学部 笠原 岳人

11月9日と10日の2日間にわたり、小職が大会長を務める第11回日本予防理学療法学会学術大会が、仙台大学船岡キャンパスにて開催されました。「人生100年時代に向けた健康づくりの実践」と掲げた大会のメインテーマのもと、上月正博先生（山形県立保健医療大学）の特別講演をはじめ、講演（2題）、シンポジウム（11題）、一般演題発表（154題）のほか、佐々木信之先生（佐々木整形外科麻酔科クリニック）による市民公開講座として「人生100年時代に向けたロコモへの取り組み」が行われました。500名を超える方々にご参加いただき、満席の会場で熱気のある質疑応答が展開され、盛会に終えることができました。

本大会の開催にあたり、渡邊好孝会長はじめ、多くの県士会の皆さまにご協力を賜りました。この場をお借りしまして、お一人おひとりに厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

### 第 11 回日本予防理学療法学会学術大会準備委員長を経験して

準備委員長

社会医療法人将道会 総合南東北病院 リハビリテーション科 安孫子 洋

2024年11月9日、10日の2日間、仙台大学船岡キャンパスを会場に、日本予防理学療法学会学術大会が仙台大学体育学部 健康福祉学科 教授 笠原岳人先生を大会長に開催されました。私は本大会の準備委員長を拝命し、約2年間の準備期間を大会長はじめ準備委員の方々、宮城県理学療法士会の皆様のご協力のもと勤め上げることができました。至らぬ点も多く、関係各所には多大なるご迷惑をおかけしたと思います。しかし、お陰様で、本大会は交通アクセスが限られる立地かつ対面開催、日本予防理学療法学会単独開催という条件の中、525名の方々が参加していただきました。誠にありがとうございました。

大会の工夫や企画の一部を紹介しますと、シンポジウムを多くしながら、より多くの知見を得られるよう工夫しました。また、託児所や家族席の設置なども行い子育て世代も参加しやすいように、そして事前質問も Web 上で受け付けるなど「参加したい」「聞きたい・学びたい」を可能な限り実現できるよう準備委員全員で取り組んできました。

参加していただいた方々が、「面白かった」「勉強になった」「色々聞けて楽しかった」「やっぱり対面の学会はいいですね」と言っていただきながらお帰りするところをお見送りしていた時には、ここでは書けないほど大変な2年間でしたが、引き受けて良かったと思いました。

このような貴重な経験の場を与えてくださったこと、また、最高のメンバーを集めていただきましたことに大会長の笠原先生には心より感謝申し上げます。

最後に、我々準備委員だけではこのような学術大会の運営は困難でしたが、渡邊会長はじめ、宮城県理学療法士会会員の皆様のご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

# ○第8回日本循環器理学療法

## 学会学術大会 活動報告

東北大学病院 診療技術部 リハビリテーション部門

竹内 雅史

2024年11月23日(土)-24日(日)にかけて仙台国際センターにおいて、第8回日本循環器理学療法学会学術大会が開催されました。本大会は、本学会副理事長である高橋哲也先生(順天堂大学教授)が大会長、本学会理事である齋藤正和先生(順天堂大学准教授)が準備委員長となり、理事および評議員の全員運営で1年以上の準備期間を経て開催され、当日は大変盛会となりました。

本学会のテーマは「循環器理学療法のキセキ」とし、過去最大の演題数、参加者数となり、どのセッションも多くの参加者と聴衆が集まり、活気のある正に「奇跡」の学会となりました。中でも、理学療法士が主導した最大規模のレジストリーであるJ-proof study 関連の報告や、全国各地で行われている先進的な取り組みが紹介され、東北地区に合った形で導入することで、東北地区の心臓リハビリテーションが更に発展する可能性を感じました。

また、本大会では、東北各県から代表者が運営委員に任命されました。私は懇親会幹事、しゃべり場ファシリテーター、クローク等でお役目をいただき、前日から会場準備で各県の皆様と準備を進めながら懇親会で親睦を深めることができました。そして、本学会が、東北、宮城で開催された意味を改めて考えてみました。東北地区は全国の中でも、心臓リハビリテーションに関わるスタッフの交流や学びの場が少なく発展途上の現状があります。学会開催を学会業者に任せるのではなく、手作りで企画運営の一つ一つの過程をシェアすることで、真の意味で交流やディスカッションの場が生まれ、東北地区の心臓リハビリテーションの文化や、携わるスタッフの関係ができていくものと理解しています。

その一環として、渡邊好孝県士会会長のご指導の下、泉ブロック長の高村真司先生(仙台リハビリテーション専門学校)や菅野美香先生(松田病院)のお力をお借りして、心臓リハビリテーションの裾野を拓げるべくセミナーを開始しています。近々、本学会でつながることができた皆様に講師をお願いし、シリーズ企画で進めていきたいと思っております。

本学会を切っ掛けに、宮城、東北地区の心臓リハビリテーションの裾野が拓がり、最終的に患者さんに届けられるものが洗練され、増えていくことを心より願っております。



## 「キセキ」と共に歩む

第8回日本循環器理学療法学会学術大会広報部長  
東北医科薬科大学病院 リハビリテーション部 千葉一幸

仙台城と広瀬川が見渡せる、仙台国際センターにおいて、2024年11月23～24日の2日間、第8回日本循環器理学療法学会学術大会が、「循環器理学療法のキセキ」のテーマのもと、929名（学生参加を含む）の参加者、200を超える一般演題、20を超えるセッション・特別企画と共に盛大に開催されました。

### 高橋哲也大会長と渡邊好孝宮城県理学療法士会会長の師弟の絆

今回の学会は、高橋哲也大会長が宮城の地で受けた教育と、その恩返しを実現する舞台でもありました。渡邊好孝会長は、高橋大会長の養成校時代の恩師であり、今回の学会を通じて二人の絆が象徴的に表現され、特に公募型企画1「キセキの理学療法」では、高橋大会長と渡邊会長が共に座長を務め、師弟の信頼関係に基づいた感動的なセッションが行われました。患者とのエピソードを交えた発表は、会場全体に深い感動を呼び起こし、また座長の温かい言葉から、感動の涙をすする音が途絶えませんでした。

### 特別企画『みちのく循環器理学療法サミット』

本企画では、東北6県の代表10名が登壇し、地方における循環器理学療法の現状と課題について議論が行われました。宮城県からは、座長として私（千葉）、演者には仙台厚生病院の小野寺亮典先生、ディスカッサントには仙台医療センターの鈴木彪流先生が登壇し、地方特有の地形や医療体制の課題に対し、実践例を交えた発表が共有され、東北地方の発展に向けた熱意の表明として、セッションの最後には「サミット宣言」が行われました。

### 大会長特別講演

本学会では、医学界からも多くのご協力をいただきました。代田浩之先生（順天堂大学学長）、上月正博先生（山形県立保健医療大学学長）、伊藤修先生（東北医科薬科大学教授）の3名の医師が特別講演を担当され、循環器理学療法の意義や未来について貴重なご意見を共有してくださいました。これらの講演は、学会に華を添えるとともに、医療の多職種連携を感じさせるものとなりました。

### 学生ボランティアの挑戦と成長

今回の学会では、宮城県内の学生ボランティアが全国規模の学術大会に参加し、多くの学びを得る場にもなりました。また、今回初の試みとして行ったセッションを案内する「学生ツアー」は大変好評で、「先生方との貴重な交流ができた」「学会の雰囲気を感じることができた」といった多くの感想が寄せられ、理学療法士を目指す学生に対して、貴重な経験も提供できました。

## 東北でしゃべり場

カフェ形式で実施した『東北でしゃべり場』は、宮城の銘菓も提供し、参加者がリラックスした雰囲気の中で臨床や教育、研究の悩みを語り合い、熱心な議論が行われました。

テーマ ①心臓リハビリを行っていなかった病院での立ち上げまでのキセキ（軌跡）

②循環器理学療法を学ぶことで、役立つこと、何につながっていくか

③地域住民に心リハを啓発していくには何をすべきか



## 本大会の特徴 『SNSでの盛り上がり』

本学会は、開催前から SNS でも大きな注目を集めました。『#キセキの学会』というハッシュタグを用いて多くの参加者が学会の意義や期待を共有し、全国の理学療法士からの関心が高まっただけでなく、多職種にも広がり、若手や多職種の学術大会参加者の拡大にもつながりました。

## まとめ

キセキの学会こと、第 8 回日本循環器理学療法学会学術大会は、多くの参加者と演題数、そして新しい試みを通じて、循環器理学療法の未来を切り拓く意義深い学術大会となりました。本大会で得られた知見や成果（奇跡）が、県内理学療法士のみなさん（輝石）のさらなる発展に寄与（軌跡）することを期待いたします。

## ○みやぎPT学会 情報

### 1) 第27回宮城県理学療法学会 受賞者

第27回大会では、多くの素晴らしい研究や報告が発表されました。本大会において、各賞を受賞された皆様のコメントを掲載します。受賞者の努力と成果が多くの方々の励みとなり、今後の理学療法の発展に繋がることを願っております。

#### 【大会最優秀賞】

氏名：関口 雄介 氏

所属：東北大学病院リハビリテーション部

演題名：機能障害特性による脳卒中片麻痺歩行の体幹姿勢の違い



この度、第27回大会において大会最優秀賞を受賞することができ、大変光栄に思います。今回の研究では、脳卒中片麻痺患者の歩行中の体幹姿勢特性を Two-step クラスタ分析を用いて客観的に分類し、体幹姿勢の特性と機能障害との関連を調べました。

この成果は、臨床で観察される歩行中の異常な体幹姿勢に対するアプローチ方法を考える一助となると考えています。最後に、ご指導いただいた先生方、測定や解析にご協力いただいた大学院生の皆様、患者様、そして東北大学病院のスタッフの皆様に心より感謝申し上げます。

#### 【大会奨励賞】研究部門

氏名：鈴木 彪流 氏

所属：仙台医療センター

演題名：高齢心不全患者における入院関連機能障害重症度の検討



この度は、大会奨励賞に選出して頂き、大変光栄に思います。近年注目されている入院関連機能障害は、心不全患者でも多く見受けられます。先行研究では、入院関連機能障害を認めた心不全患者では ADL 下位項目が複数障害されたことが明らかとなっていました。そこで、今回は、心不全患者における入院関連機能障害の重症度を予測する因子について報告させて頂きました。今後も心不全患者の予後改善のため、精進してまいります。

最後に、日頃よりご指導くださっている先生方、研究に協力していただいた皆様に心より御礼を申し上げます。

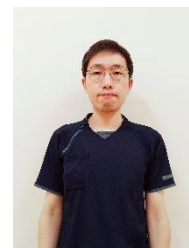


【大会奨励賞】症例報告部門

氏名：猪谷 俊輝 氏

所属：宮城県立こども病院

演題名：入院でのリハビリテーションにより Canadian Occupational Performance Measure(COPM)が改善した脳性麻痺の1例



この度は、大会奨励賞に選出して頂き、誠にありがとうございます。普段、こども病院でお子さんに対する理学療法を行う中で重要と考えていることを症例報告としてまとめました。お子さんやそのご家族の思いを大切にすること、標準化された評価方法を用いること、多職種と協働することがお子さんに対する理学療法を行う中で特に重要なことと私は考えています。引き続き、こども病院を受診されるお子さんとそのご家族に対してより良い理学療法を提供し、微力ではありますが、宮城県や東北地方の小児理学療法の発展に貢献できるように励みたいと思います。

最後に、今回の症例報告にご協力頂いたお子さんとご家族に心より感謝申し上げます。

【新人賞】症例報告部門

氏名：千田 涼人 氏

所属：東北大学病院

演題名：多要因により右膝関節伸展制限を生じた

右人工関節置換術後症例の理学療法



この度は新人賞という名誉ある賞を頂き、光栄に感じているところです。患者様、査読者、学会運営者、共同演者の先生方、並びに発表までご支援くださった全ての皆様にこの場を借りて、厚く御礼申し上げます。

本発表は私自身初の学会発表を行なってみたいという気持ちから、準備をスタートさせました。各先生方のご指導のお陰をもちまして、最終的には発表まで辿り着くことができました。

今後も学会発表などを通して、自身の臨床推論能力を高めていきたいと思ひます。そして、より良い理学療法提供を行えるように日々研鑽を積んでいきたいと思ひます。

【新人賞】症例報告部門

氏名：澁谷 瑞香 氏

所属：西仙台病院

タイトル：経管栄養時の姿勢崩れにより誤嚥性肺炎を呈した症例  
—再発防止のためのポジショニング—



この度は新人賞をいただき、大変光栄に感じております。入職後初めての院外発表で緊張しておりましたが、他施設の皆様からたくさんのアドバイスや意見をいただくことが出来、とても貴重な経験となりました。

今回の学術大会では、主に経管栄養の患者様に対する誤嚥性肺炎予防のためのベッド上ポジショニングについて発表させていただきました。慢性期病院において、呼吸器疾患を有する患者様や、肺炎による状態変化は少なくないというのが現状です。座位姿勢で経口摂取が行える患者様が当たり前ではなく、ベッド上での経管栄養を実施している患者様が多くいらっしゃいます。またそういった患者様の中には、四肢の拘縮や可動域制限などが原因となりベッド上での身体のずり落ちが発生し、良姿勢保持が困難となっている方も多くみうけられます。そこで、理学療法士として私たちは、運動プログラムの実施だけではなく、正しいポジショニングを行っていく事が患者様にとってとても重要であると、日々感じております。

私自身まだまだ未熟ではありますが、今後も患者様に寄り添えるリハビリを提供出来るよう、さらに慢性期リハビリの周知にも務めて参りたいと思います。

## 2) 第 28 回宮城県理学療法学術大会のお知らせ

今年度の#みやぎ PT 学会も成功裡のうちに終了しました！

おかげさまで約 740 名の方にご登録・ご参加いただきました 🍷

- ◇ 日時：2025 年 2 月 2 日（日）
- ◇ 会場：東北文化学園大学＋一部 Live ウェブ配信
- ◇ 大会テーマ：「理学療法を誠実に楽しむ～経験の共有と共話すによる成長～」
- ◇ 大会長：鈴木博人（東北文化学園大学）
- ◇ 準備委員長：栗村達也（みやぎ南部整形外科クリニック）

大会 HP>>>



※詳細は次号の MPTA ニュースや HP 等でお知らせさせていただきます！

## ○宮城県理学療法士連盟活動報告

～いつまでも「好き」を仕事にしていくために必要なこと～

宮城県理学療法士連盟会長

羽田 智大

いつも宮城県理学療法士連盟の活動にご理解とご協力頂きましてありがとうございます。

去る令和6年12月12日、リハビリテーションを考える議員連盟（以下リハビリ議連）の第10回総会が東京の憲政記念館で開催されました。令和6年10月27日の衆議院議員選挙を受けて、議員連盟の国会議員の人数はやや減少いたしました。しかしながら、総会当日は国会本会議が直後に予定されていたにも関わらず、参加者の人数と熱気は他の議員連盟を圧倒するほどの勢いとなりました（写真はリハビリ議連会長 鈴木俊一総務会長 前財務大臣）。

リハビリ議連では、理学療法士のみならず、作業療法士、言語聴覚士と議員、そして厚生労働省の担当者が一緒に現状課題を話し合い、要望の合意形成を行う機会、場として大いに機能しております。声を大きく伝えること、要望することが大切です。さて、国会議員との関係性を築く上で、私たち理学療法士側からみて大切なことがもう一つあります。それは協定を結ぶということです。政策協定と呼ばれるものです。国会議員に我々の現場の政策課題に向き合ってもらい、解決することに合意してもらい、協定を結びます。国も積極的に声をあげる要望の強い業界団体は無下にできませんので、声をひろって大きくご発言を頂き、国や政策を動かすムーブメントをつくっています。今回の議連総会には、鈴木総務会長はじめ、田村憲久氏、自見はな子氏、野田聖子氏、小林鷹之氏といった影響力の大きな方々にもご参会頂きました。決して、田中まさし先生一人が活動しているわけではないのです。ですが、田中先生が国政の場にはいないとリハ議連の仲間も声をあげる機会を失い、リハビリテーション業界は急速に冬の時代を迎えるでしょう。

リハビリ議連では、喫緊の課題である継続的な賃上げ、レジデント制にもつながる専門的研修の義務化、その費用負担、さらにはそれらに伴う資格法の改正など多岐にわたってご議論頂いております。これらの政策を進めていかないといけません。24年度の診療報酬改正では、回復期リハビリテーション病棟の入院料1・2が大幅アップとなった一方で、体制強化加算やリハビリ総合計画評価料の廃止は大きな影を落としています。誠実に頑張っているリハビリテーション病院に質の低下を招きかねない改悪に大変な危機感を覚えます。これはこの業界に関わる全員の問題であ

って、どこかの誰かの問題ではないのです。いつまでも安心して大好きな仕事を続けられるよう、日頃の仕事にひと手間くわえ、田中まさし後援会の入会（ファンクラブであって選挙運動ではありませんよ）をおすすめください。理学療法の業界がどれくらいの声をもっているのか、制度をつくる側の方々もじっと見えています。どうかご理解とご協力のほどお願いいたします。



○祝 小川かつみ先生

参議院議員 繰り上げ当選！！

さて、田中まさし後援会より参議院議員の田中まさし先生の後援会入会の案内をお送りいたしましたので、まだ後援会に入会されていない皆様は私たちの未来につながる“ファンクラブ活動”にご協力ください。

なぜなら、後援会入会者数が国政における発言力のバロメーターとなって、田中まさし先生（そして小川かつみ先生）が理学療法士の生活改善や職域の拡大・整備・開発に直結する政策を国で進めることができるからです。

是非、理学療法士が国民の健康にもっと貢献できるよう、次世代を担う若い理学療法士の生活が楽に（楽しく）なるためにも、後援会への入会申し込みを宜しくお願いいたします。

私は田中まさし先生の後援会活動を応援しています！

宮城県理学療法士連盟会長

羽田智大

## ○理学療法士が教える

### ぜひ読んでおきたいこの1冊

宮城県理学療法士会 副会長

村上 賢一

#### 「心にトゲ刺す200の花束 一究極のペシニズム箴言集一」

エリック・マーカス著

今回は、私の愛読書を紹介いたします。元々、私は箴言集（しんげんしゅう）を中学生の時分から好きで読んでいました。箴言集というのは、いわゆる「格言集・名言集」のようなもので、有名なのは「ラ・ロシュフコー箴言集」です。ラ・ロシュフコー箴言集（1664年初版刊行）は、人間性の根源にエゴイズムをみるモラリストの格言に焦点を当てたものですが、このエリック・マーカスの箴言集は、「ペシニズム」に焦点を当てています。ペシニズムとは、日本語でいうと「悲観主義」といったところですか。ラテン語の「最悪」を語源としていて、“この世は考えること出来る限り最悪の世界”“未来に対する否定的な見方や、物事が悪い方向に進むという考え方”などといった観点となっています。所謂、「楽観主義」と対局をなす考え方です。私は、元からも未だにも悲観主義ではありませんが、16年前にこの本に出会って、心は救われ、また多角的な視点を持てるようになりましたので、おススメいたします。

この本に収められている名言には、シニカルで、思わず笑ってしまうものや納得できるものがあります。あくまで理学療法士に紹介するわけですから、この本のなかからいつも臨床や研究で戒めている明言を紹介します。

「問題は果てしなく複雑になりうる。なぜならひとつの問題はかならず別の問題を誘発するからだ。(E・B・ホワイト 1899-1985 \*米国のジャーナリスト)」

「問題が、あるひとつのことでないなら、別のふたつのことだ。(ジェームズ・B・レッドフォード 1924-1981)」

「成功とは、失敗に失敗を重ねても情熱を失わない能力のことだ。(サー・ウィンストン・チャーチル \*英国の政治家)」

さて、いかがでしょうか？また、私が学生相手に参考に使っているのは、「ティーンエイジャーに関する問題で、彼らに道理を説いたときに悪化しないものはない(作者不詳)」です。道理が通じないときや想いが伝わらないときに、いつも思い出します。

あー、もっと紹介したい・・・恋愛系も沢山収められていますよ。



デザインの良い表紙



好きな名言に付箋

令和6年度 宮城県理学療法士会 役員名簿

2024/6/24

部署		氏名	勤務先	〒	勤務先住所	勤務先TEL	
理事	会長	渡邊 好孝	医療法人社団会	981-3217	仙台市泉区美沢字立田屋敷17-1	022-378-5666	
	副会長 (事務・財務・事業局担当)	藤野 逸香	東北労務学院	989-1901	鹿田郡田端町大字前田字北原59-6	0224-84-6121	
	副会長 (学術・教育局担当)	村上 賢一	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区台原4-3-21	022-278-1111	
	副会長 (社会・ブロック局担当)	阿部 功	総合南東北病院	989-2483	岩沼市豊の杜1-2-5	0223-23-3151	
	副会長 (各種委員会担当)	榊 望	仙台リハビリテーション学院	981-3341	宮谷市成田1-3-1	022-351-8118	
	理事	事務局長	高橋 利幸	エバーグリーン病院	981-3217	仙台市泉区美沢字立田屋敷17-1	022-378-2828
	理事	財務局長、事務局長	新山 正都	大和町たかほし整形外科クリニック	984-9042	仙台市若林区大和町1-4-13	022-220-2773
	理事	事業局長、職能担当	櫻井健太郎	仙台成瀬神経外科病院	983-0821	仙台市宮城野区若原1-12-1	022-235-7117
	理事	学術局長	鈴木 輝人	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区国見6-45-1	022-232-3210
	理事	教育局長	鈴木 誠	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区国見6-45-1	022-232-3210
	理事	社会局長	阿部 功				
	理事	ブロック局長	羽田 晋次	仙台医健、スポーツ専門学校	984-0051	仙台市若林区南2-1-11	022-292-2128
	理事	事務局長	坂下昭希忠	医療法人社団光友会アルハイム川崎	989-1901	鹿田郡田端町大字前田字北原59-6	0224-84-6121
	理事	学術・教育局担当	高橋 一輝	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区国見6-45-1	022-232-3210
	監事	監事	社会・ブロック局担当	石島 孝樹	株式会社ハートピア	989-3207	仙台市青葉区中山台西11-11
監事		社会・ブロック局担当	関 清志	広南病院	982-8523	仙台市太白区長町南4丁目20番1号	022-248-2121
監事		社会・ブロック局、委員会担当	安藤子 洋	総合南東北病院	989-2483	岩沼市豊の杜1-2-5	0223-23-3151
監事		委員会担当	三田好 徳	東北医科薬科大学病院	983-0312	仙台市宮城野区第3丁目3番1号	022-250-1221
監事			藤藤 伸也	仁明会 地域支援事業部	989-0875	石巻市北広町1番1号	0225-96-3736
監事			奥成 裕彦	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区国見6-45-1	022-232-3210
監事			三浦 幸一	特別養護老人ホームまろのろ	982-8335	仙台市太白区駒取本町2丁目12	022-398-6124
相談役		相談役	安藤 晋	自宅			
事務局		総務課 (部長)	坂下昭希忠				
		会員情報管理部 (部長)	加藤 弘由	仙台市障害者総合支援センター	981-3133	仙台市泉区泉中央2-24-1	022-771-6511
財政局	経理課 (部長)	新山 正都					
	公益事業管理部 (部長)	方山 望	国立病院機構 仙台西多賀病院	982-8335	仙台市太白区駒取本町2-11-11	022-245-2111	
事業局	士会事業管理部 (部長)	石田美樹子	仙台エコー医療センター	989-3212	仙台市青葉区学館字横前1-1	022-394-3711	
	法人事業管理部 (部長)	櫻井健太郎					
学術局	学術大会部 (部長)	青木 和久	大和町たかほし整形外科クリニック	984-9042	仙台市若林区大和町1-4-13	022-220-2773	
	学術課 (部長)	平山 和哉	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区国見6-45-1	022-232-3210	
	専門領域研究部 (部長)	坂上 高徳	仙台青葉学院短期大学	982-0011	仙台市太白区長町4-3-35	022-308-2071	
教育局	生涯学習部 (部長)	岡明信代子	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区国見6-45-1	022-232-3210	
	教育部 (部長)	阿部 立治	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区国見6-45-1	022-232-3210	
社会局	予防と健康づくり部 (部長)	岩瀧 逸俊	介護老人保健施設 センだんの丘	989-3201	仙台市青葉区国見ヶ丘6丁目120-51	022-727-7722	
	スポーツ部 (部長)	千葉 渉	松田病院	981-3217	仙台市泉区美沢字立田屋敷17-1	022-378-5666	
	医療保険部 (部長)	金子亮太郎	松田病院	981-3217	仙台市泉区美沢字立田屋敷17-1	022-378-5666	
	介護保険部 (部長)	渡辺 和真	総合南東北病院	989-2483	岩沼市豊の杜1-2-5	0223-23-3151	
ブロック局	仙南支部	支部長 阿部 功	支部長 安藤子 洋		旭豊支部 支所長 鈴木 輝	旭豊総合病院	
	岩沼支部				黒川支部 支所長 榊 望		
	太白支部	支部長 大鹿雅 肇	広南病院		大崎支部 支所長 小野寺 和久	大崎市民病院	
	青葉支部	支部長 斉藤 真一	東北保健医療専門学校		石巻支部 支所長 伊藤 貴広	石巻市立病院	
	若林支部	支部長 片岡 洋輔	仙台医健、スポーツ専門学校		氣仙支部 支所長 前川 芳輝	氣仙中央病院	
	宮城野支部	支部長 工藤 渉	仙台成瀬神経外科病院		豊泉支部 支所長 小寺 亮彦	整米市民病院	
	泉支部	支部長 高村 真司	仙台リハビリテーション専門学校		気仙前支部 支所長 菅原 寛太	介護老人保健施設はまなすの丘	
若狭委員会	若狭支援対策委員会	坪田 頌子 (委員長)	合同会社リハビリタ				
	表彰委員会	坂下昭希忠 (委員長)					
	理学療法士の日運営委員会	櫻井健太郎 (委員長)					
	組織調査委員会	榊 望 (委員長)					
	S領域リハ振興委員会	阿部 功 (委員長)					
	先進リハ機器活用推進委員会	安藤子 洋 (委員長)					
	E-radiog委員会	水戸幸由美 (委員長)	仙台市				
	政策検討委員会	藤藤 寛太 (委員長)	介護老人保健施設はまなすの丘	988-0334	気仙沼市本吉町外尾25	0226-42-2915	
	臨床実習指導者講習会運営委員会	鈴木 誠 (委員長)					
	国際交流・支援等委員会	三田好 徳 (委員長)					
仕事と家庭・私生活の両立を支える委員会	坂下 昭希忠 (委員長)						
諮問委員会	MTA新時代構想会議	渡邊 好孝 (委員長)					
	組織検討委員会	榊 望 (委員長)					
特設委員会	第45回東北理学療法士学術大会準備委員会	鈴木 輝人 (委員長)					
	60周年・法人20周年記念誌編纂委員会	櫻井健太郎 (委員長)					
	障害者福祉新築委員会	高橋 一輝 (委員長)					
選挙管理委員会		方山 勝利	仙台赤十字病院	982-0901	仙台市太白区八木山本町2-43-3	022-243-1111	
選出委員	日本理学療法士協会代議員		藤野 逸香	村上 賢一	阿部 功	鈴木 輝人	
	東北ブロック協議会 学術局	学術大会部	鈴木 誠				
		機関誌編集部	芝崎 渉	総合南東北病院	989-2483	岩沼市豊の杜1-2-5	0223-23-3151
		教育研修部	川上 真吾	松田病院	981-0301	東北福祉大学若原5-3-7	0225-93-2111
		宮城県リハビリテーション専門職協会 理事	渡邊 好孝	藤野 逸香	櫻井健太郎		

## ○お願い

「新人を迎える職場の皆様」

「新人」や「これから入会しよう」とされている方のために、  
4月20日と8月31日に参加しやすいようにシフトを組んでいただけたら幸いです。



宮城県理学療法士会  
MIYAGI PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION

# Welcome!

イベント第1弾!

## 新人PT歓迎イベント

日時：2025年4月20日(日) *Apr.*  
会場：サポセン(地下鉄広瀬通駅から徒歩5分!)  
内容：年の近い先輩PTから新人PTをやり抜く  
コツを聞こう!  
特典：イベント後、希望者には昼食をご用意します!  
同級生と話したい!・同世代と繋がりたい!  
そんな気軽な気持ちでご参加ください!

イベント第2弾!

## 新人オリエンテーション

日時：2025年8月31日(日) 開催予定 *Aug.*  
会場：東北文化学園大学(JR仙山線国見駅目の前!)  
内容

- ・日本理学療法士協会の学習システムで何を学べる?
- ・登録理学療法士・認定理学療法士へのステップとは?
- ・理学療法士協会に入会するメリットとは?

当日は協会専用ページの使い方など、在会者向けの説明も  
多くあります。  
日本理学療法士協会の会員番号を取得して参加すると  
とてもスムーズです!

宮城県理学療法士会 公式LINEでイベント情報GET!  
歓迎イベント・新人オリエンテーションの詳細はLINEにて



